

会 議 録

第 1 6 回定例会

開会 令和 3 年 1 1 月 2 9 日

教育委員会会議録

1 開 会 令和3年11月29日 午前10時

2 閉 会 令和3年11月29日 午前11時25分

3 教育委員会出席者

| | |
|-----|--------|
| 教育長 | 柚 浩一 |
| 委 員 | 河口 雅子 |
| 委 員 | 菊池 健次 |
| 委 員 | 島 隆寛 |
| 委 員 | 三木 千佳子 |
| 委 員 | 河野 暁 |

4 教育長及び委員以外の出席者

| | |
|-----------------|--------|
| 副 教 育 長 | 臼杵 一浩 |
| 教 育 次 長 | 藤本 和史 |
| 教 育 次 長 | 藤田 完 |
| 教 育 創 生 課 長 | 重田 英紀 |
| 教 職 員 課 長 | 今田 潤 |
| 学 校 教 育 課 長 | 木屋村 浩章 |
| 特 別 支 援 教 育 課 長 | 田中 清章 |
| 教 育 政 策 課 長 | 高崎 美穂 |
| 教 育 政 策 課 副 課 長 | 高木 和久 |

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第47号、議案第48号及び議案第51号を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第52号 徳島県立学校規則及び徳島県立高等学校総合寄宿舎管理規則の一部を改正する規則について》

教育長 説明を求める。

学校教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第52号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第52号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 学校運営協議会の設置及び委員の任命について（令和3年10月分）》

教育長 報告を求める。

学校教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

河口委員：各学校の特色や現状を考慮して、委員が人選されている。今後も同様に人選してほしい。

《報告事項1 第5回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」の概要について》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：公立高校の場合は学校がこれからも存続する中での利活用を考えているのか。

教育創生課長：再編統合によって使われなくなった学校の利活用も含めて考えている。

島委員：いずれにしても使用基準を明らかにする必要がある。また、各校の学校運営協議会で良いアイデアを出してもらう必要がある。施設の利活用について興味がある人もいると思うので広く募った方が良いと思われる。最近、小松島市の行政改革推進懇話会に出席しているが、小松島市は小学校が11校から5校に減少する。財政面も考慮して、収入がプラスになるような施設の利活用が良いのではないかと小松島市でも話をしているところである。

河口委員：利活用の事例で紹介されているのは、専門高校がほとんどである。当該検討会議では、今後の再編統合に向けて、どのように利活用するかについても検討しているのか。

教育創生課長：今後生徒数が減少する中で、余裕教室も生じてくる。再編統合についても、将来的には考えていかなければならない場面も想定される。

河口委員：協働的な学びの確保に向けた方策の中でも協議されたと思うが、多様な発想を生かすとともに、各校の特色や魅力、さらには社会、地域、学校からのニーズを踏まえて利活用の推進を図らねばならない。

河野委員：徳島科学技術高校等で地域のスポーツ拠点としての利活用を推進していると思うが、高校の部活動との兼ね合いや施設の管理面についてはどうか。

教育創生課長：基本的には学校と競技団体で協議し、調整していると認識している。

河野委員：ウエイトリフティングなどは一緒に練習できると思うが、うまく対応できるのか。熱心に部活動を行っているところは使えないのではないか。

藤本教育次長：競技団体と一緒に強化しているところは、一般の方と高校生が同じ時

間帯に練習している。ただ、基本的には学校施設は教育施設なので、部活動の時間を優先的に確保し、空き時間を競技団体に伝えるなど各校で工夫している。学校が使う時には遠慮いただいている。競技団体等が利用する時には、鍵の管理等もお願いしている。

河野委員：学校がHP等で当該競技団体等に周知して取り組んでいるのか。

藤本教育次長：数としてはそれほど多くない。資料のように徳島科学技術高校がすでに取り組んでいる。さらに、鳴門渦潮高校が取り組み始めたところである。やはり練習時間の調整等、難しい面があるので、まずは鳴門渦潮高校で取り組んでいただき、問題点の洗い出し等を行う。その上で、他校でも利活用できるところは取組を広げてまいりたい。

《議案第49号 令和4年度徳島県立中学校及び徳島県立中等教育学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

教育長：去年と内容的に大きく変更するところはあるのか。

教育創生課長：去年と同じような対応を考えている。

河口委員：去年、特に問題はなかったか。

教育創生課長：去年は、追検査・追面接の該当者は幸いなことにいなかった。

河口委員：本年度もそうなればと思う。

教育長 議案第49号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第49号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第50号 令和4年度徳島県公立高等学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：受検というのは、事前にルールを細かく通知しておくべきものである。今回、この対応を見て、特色選抜に関しては特別追検査を実施しないということであれば、本来、特色選抜で受けるはずだった生徒は特色選抜の内容では受検できないと認識できる。また、追検査の合格者数が学級数とするとなっているが、追検査を受けた生徒の点数が、仮に本試験では合格の点数であったとしてもその条件では合格しない場合もあることが想定される。つまり、特色選抜についても一般選抜についても、極力新型コロナウイルス感染症に感染しないようにしないと、不利な扱いを受けますよということをおっしゃるべきではないかと思う。よく読まないでコロナ対応については分かりにくいので、事前にそのようなことを通達しておくべきではないか考える。

教育創生課長：新型コロナウイルス感染症への対応については、受検機会をきちんと確保しているということをお知らせしていただくよう通知したいと考えている。

三木委員：昨年度、新型コロナウイルス感染症の対応があり良かったという声は聞こえてきたが、細かな制約までは理解していなかったようなところがあった。特別追検査は、多少なりともリスクが伴いますよということを受検生やその保護者の方々に伝えることができるようにしていただければと思う。

教育長 議案第50号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第50号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第53号 令和4年度徳島県立特別支援学校高等部入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応について》

教育長 説明を求める。
特別支援教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第53号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。
教育長 議案第53号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第47号 令和3年度事務局等教職員の功績表彰における教育委員会表彰の被表彰者について》

《議案第48号 令和3年度徳島県教育委員会関係職員表彰（グループ表彰）の被表彰者について》

《議案第51号 令和3年度学校職員の功績表彰における教育委員会表彰の被表彰者について》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前11時25分

徳島県教育委員会

教育長

委員

委員

委員

委員

委員

書記長

書記